

豊かな環境の保全及び創造のために講じた施策事業【点検・評価】シート（案）

資料3-2

施策事業名称	事業継続性	目的・内容	関連するSDGsゴール	決算額(千円)	令和■年度の取組								点検・評価結果 課題	改善策・今後の方向性
					進捗状況			2030大阪府環境総合計画の「施策の基本的な方向性」との関係※2						
					取組指標	実績(取組指標に対する結果)	評価※1	中長期的かつ世界的な視野	環境・社会・経済の統合的向上に資する4つの観点					
									外部性の内部化	環境効率性の向上	環境リスク・移行リスクへの対応	自然資本の強化		
例 おおさかスマートエネルギーセンターの運営	継続	7 13 14	■■■	・■■■事業におけるマッチング件数 × × 件 ・省エネセミナーの開催・講演 × × 回	・■■■事業におけるマッチング件数 △△件 ・省エネセミナーの開催・講演 ■■■回	☆☆☆	○	○	◎			概ね想定通り実施しました。	「おおさかスマートエネルギープラン」に基づき、再生可能エネルギーの普及拡大や省エネの推進などを、おおさかスマートエネルギーセンターにおいて着実に実施していきます。
生物多様性保全のための普及啓発推進	継続	4 6 11 14 15 17	△△	・■■■連絡会の開催 1回 ・× × × 協議会 1回	・■■■連絡会の開催 6回 ・× × × 協議会 1回	☆☆☆	○			○	◎	関係機関と特定外来生物の防除等に関する情報共有を行い、効果的な防除を進めることができました。	引き続き多様な主体との連携を進め、人材育成にも取り組んでいきます。また、特定外来生物への理解促進も進めていきます。
大気汚染防止のための事業所規制	継続	3 9 11	◎◎◎	・条例対象施設への立入件数 ■■■件 ・行政による排ガス等の測定 △△件	・条例対象施設への立入件数 ■■■件 ・行政による排ガス等の測定 △△件	☆☆☆	○	◎	○	○		■■■の影響もあり立入検査件数は前年度より減少したが、届出審査や立入検査等、大気汚染に係る事業所への指導を通じて、大気汚染防止に取り組みました。	引き続き事業所への立入検査を実施し、規制基準の遵守指導に取り組みます。
		<p>※1 「進捗状況」の「評価」欄の☆の数の意味</p> <p>☆☆☆☆ : 想定以上、☆☆☆ : 想定どおり、☆☆ : 想定以下(特に改善を要しない)、☆ : 想定以下かつ要改善</p> <p>※2 「2030大阪府環境総合計画の「施策の基本的な方向性」との関係」のマークの意味</p> <p>◎ : 当該事業の主たる目的や効果が、当該欄に掲げる、2030大阪府環境総合計画の「施策の基本的な方向性」に寄与した</p> <p>○ : 当該事業の副次的な(二次的な)効果が、当該欄に掲げる、2030大阪府環境総合計画の「施策の基本的な方向性」に寄与した</p> <p>なお、評価理由については各所属で整理し、「講じた施策」をとりまとめ事務局(環境農林水産部エネルギー政策課)が必要に応じて確認する。</p> <p>例) 大阪府グリーン調達方針に基づく環境配慮調達の推進 中長期的かつ世界的な視野 : ○(長期的課題である脱炭素、プラスチックごみ問題に寄与する基準を設定し運用しているため) 外部性の内部化 : ◎(府庁の事業活動に環境配慮調達を内部化させる仕組みであるため) 環境効率性の向上 : ○(環境配慮調達の促進により、環境効率性の高い製品や技術の普及に寄与するため) 環境リスク・移行リスクへの対応 : 無印 自然資本の強化 : ○(環境配慮調達の促進により、資源の持続的な利用や、原料採取地における生物多様性等の保全に寄与するため)</p> <p>(注)点検・評価の結果は、翌年度の施策・事業の改善等に反映する。 進捗状況評価、及び「施策の基本的な方向性」との関係について改善を検討して反映したことがわかるように整理する。</p>												